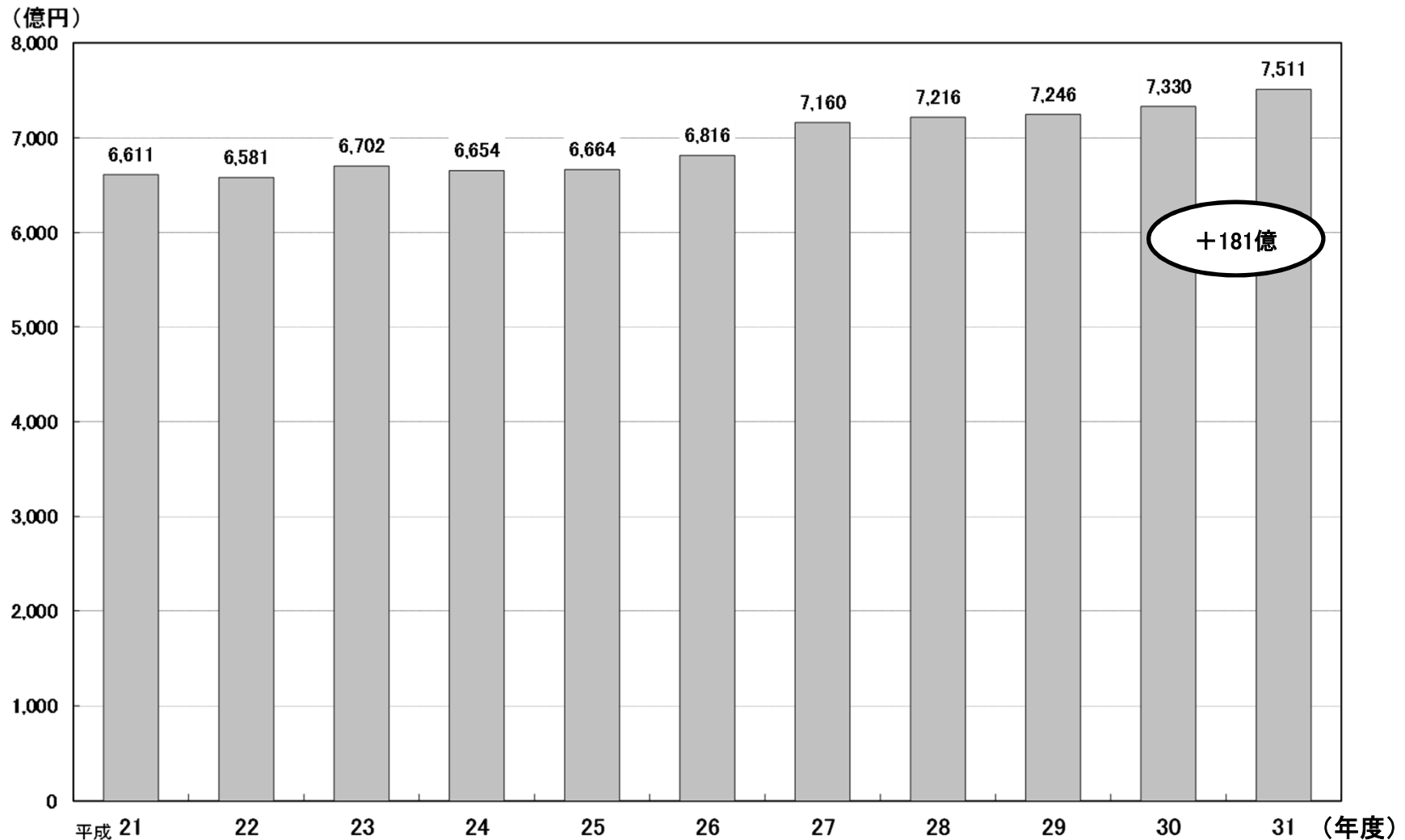


当初予算額の推移

- ・「Gメッセ群馬」の完成に向けた整備や防災・減災対策への取組、社会保障関係経費の増加などにより、前年度に比べて+181億円の増。(7年連続の増)
- ・制度融資を特別会計に移管した平成20年度以降では、最も大きな予算規模。



主な財源の状況

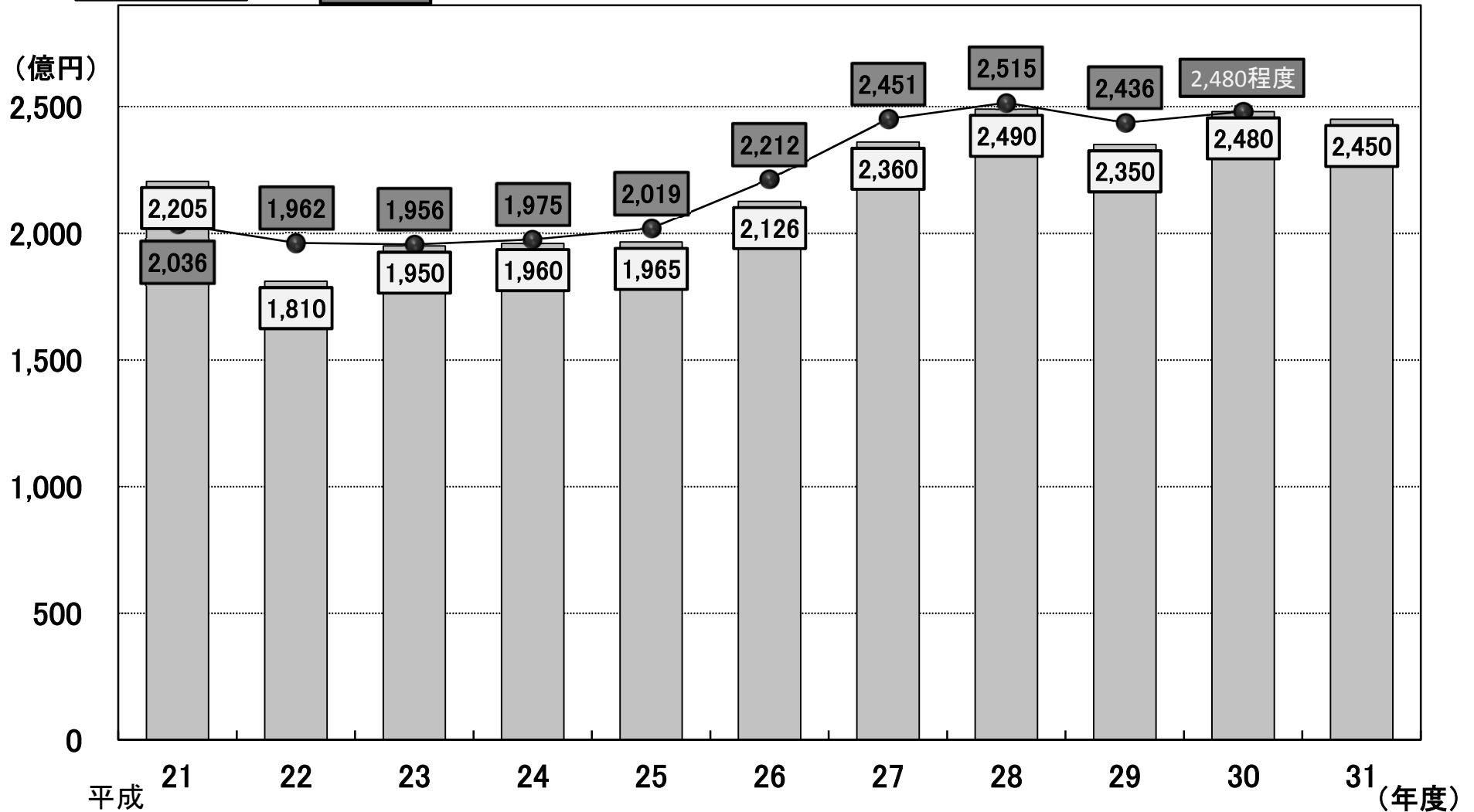
	H30当初	H31当初	対前年度	
			増減額	増減率
県 税	2,480 億円	2,450 億円	▲ 30 億円	▲ 1.2 %
地方消費税清算金	770 億円	755 億円	▲ 15 億円	▲ 1.9 %
地方譲与税	346 億円	370 億円	+ 24 億円	+ 6.9 %
地方交付税	1,241 億円	1,247 億円	+ 6 億円	+ 0.5 %
県 債	1,043 億円	1,125 億円	+ 82 億円	+ 7.8 %
うち 臨時財政対策債	464 億円	416 億円	▲ 48 億円	▲ 10.3 %
うち 退職手当債	32 億円	19 億円	▲ 13 億円	▲ 40.6 %
うち 防災・減災緊急対策 に係る県債	億円	149 億円	+ 149 億円	皆増
その他	547 億円	541 億円	▲ 6 億円	▲ 1.2 %
基金繰入金 (財調・減債)	119 億円	89 億円	▲ 30 億円	▲ 25.2 %

災害発生時等の緊急な財政出動に備えるため、財政調整基金残高15億円を確保 (30当初:11億円)

県税の推移

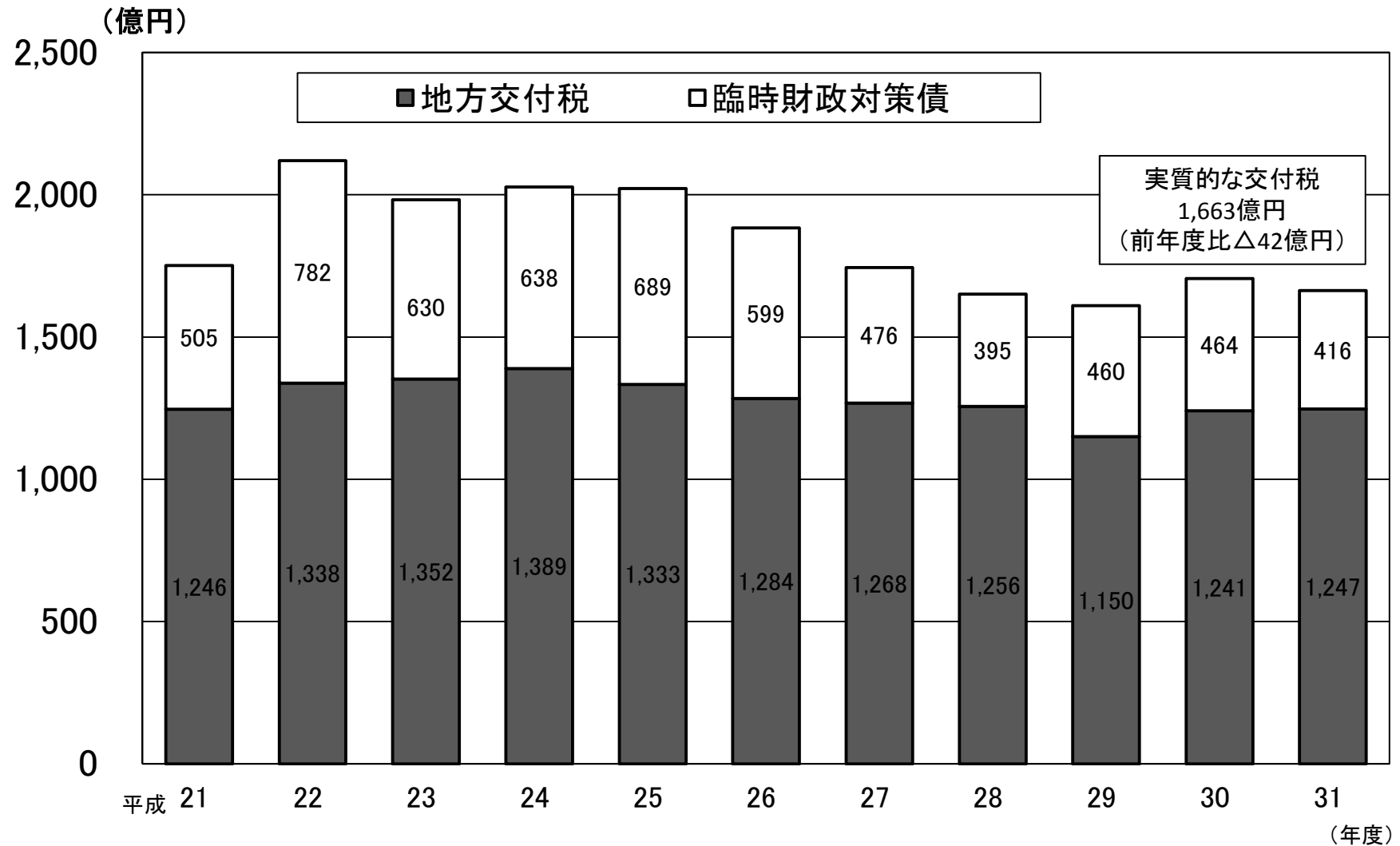
・平成31年度は、一部法人の業績が前年を大幅に下回る見通しであることや税制改正の影響などにより、平成30年度に比べて△30億円の減。

■ 当初予算額 ● 決算額



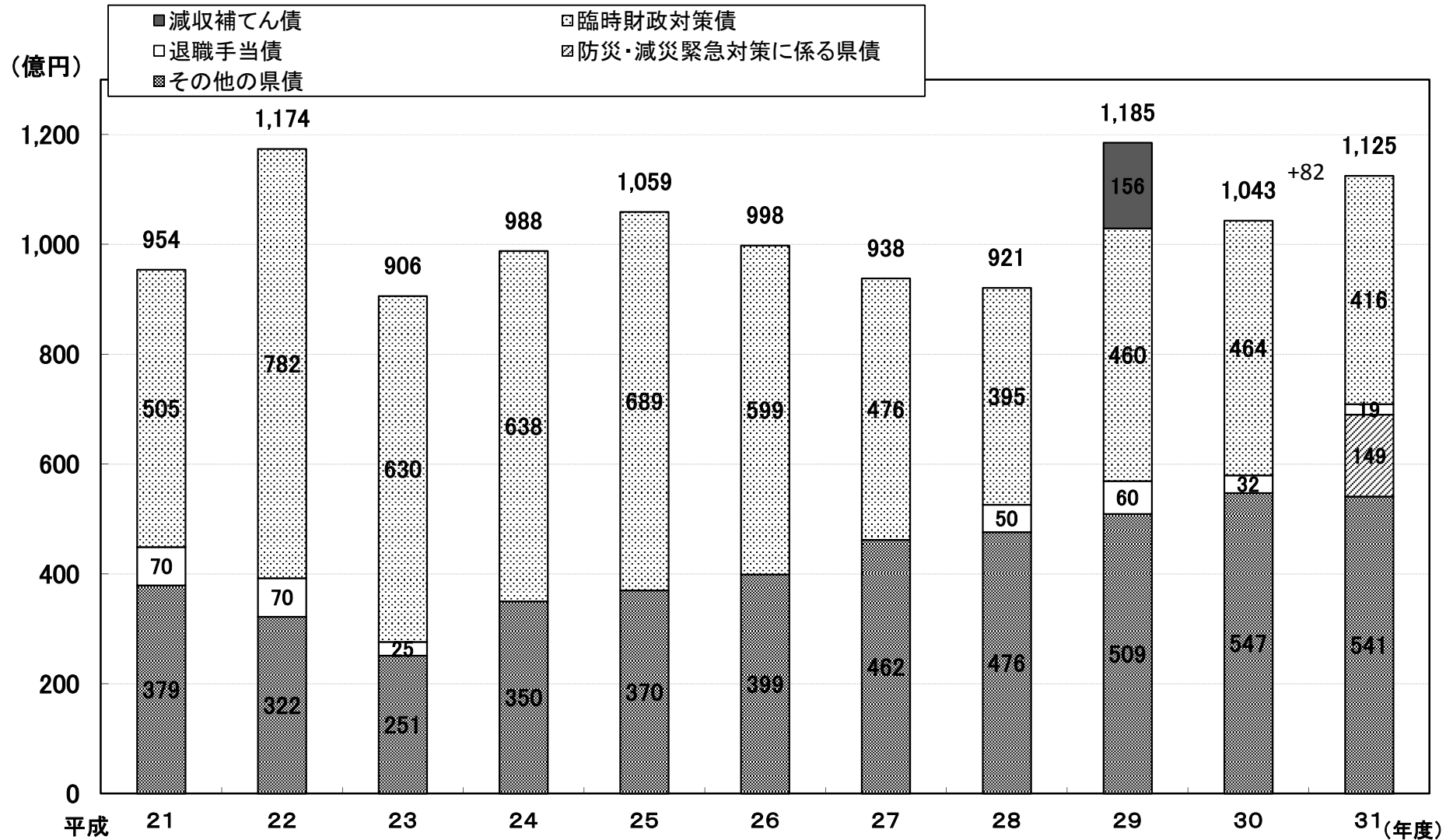
地方交付税等の推移

・国の地方財政対策を踏まえると、地方交付税と臨時財政対策債をあわせた実質的な交付税は、前年度に比べて△42億円の減。



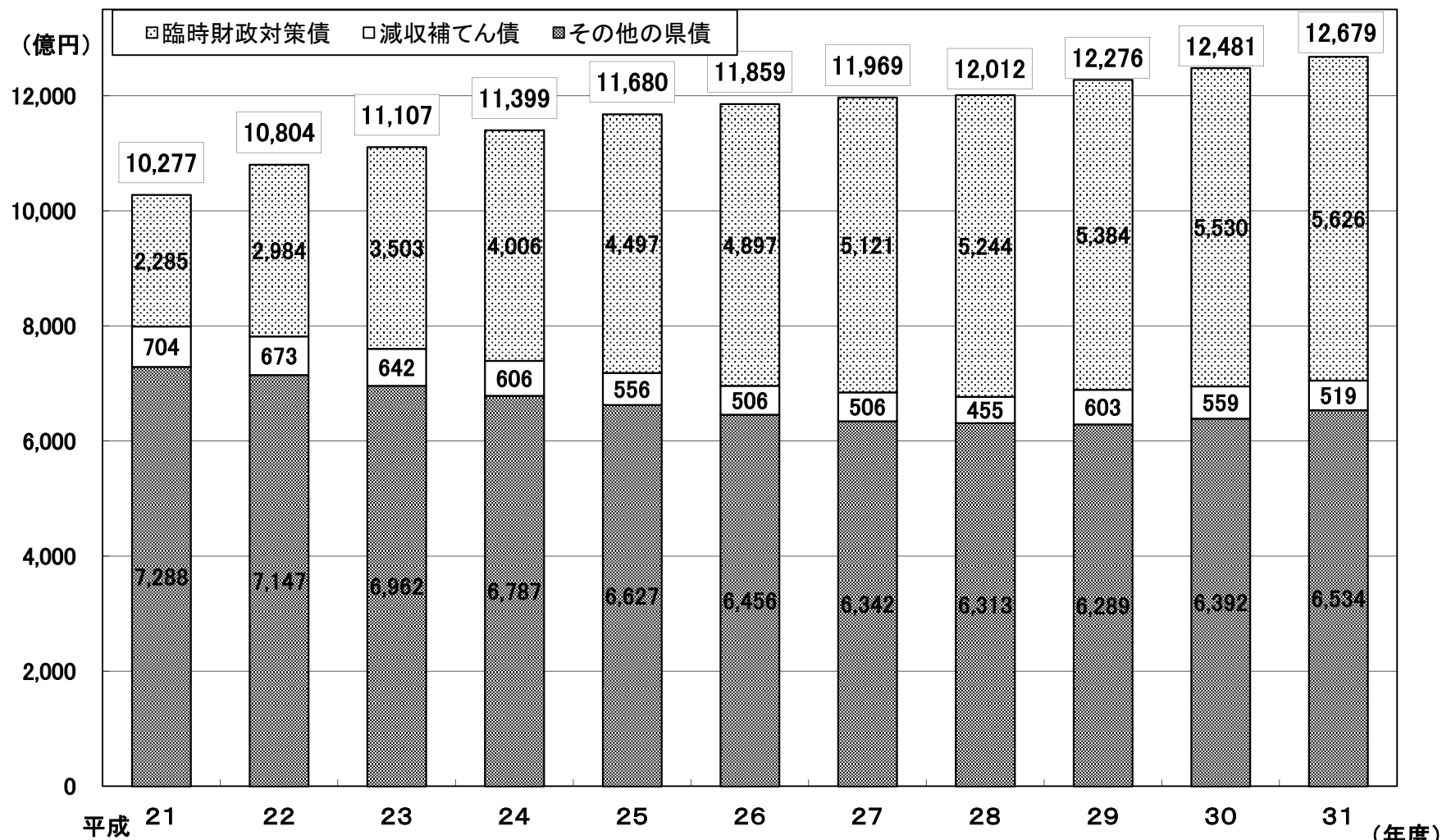
県債予算額(当初予算)の推移

・財源的に有利な防災・減災緊急対策に係る県債の発行(149億円)等により、県債予算額は前年度に比べて+82億円の増。



県債残高の推移

・財源的に有利な防災・減災緊急対策に係る県債の発行(149億円)等により、県債残高(見込)は、臨時財政対策債、それ以外の県債ともに前年度に比べて増加。

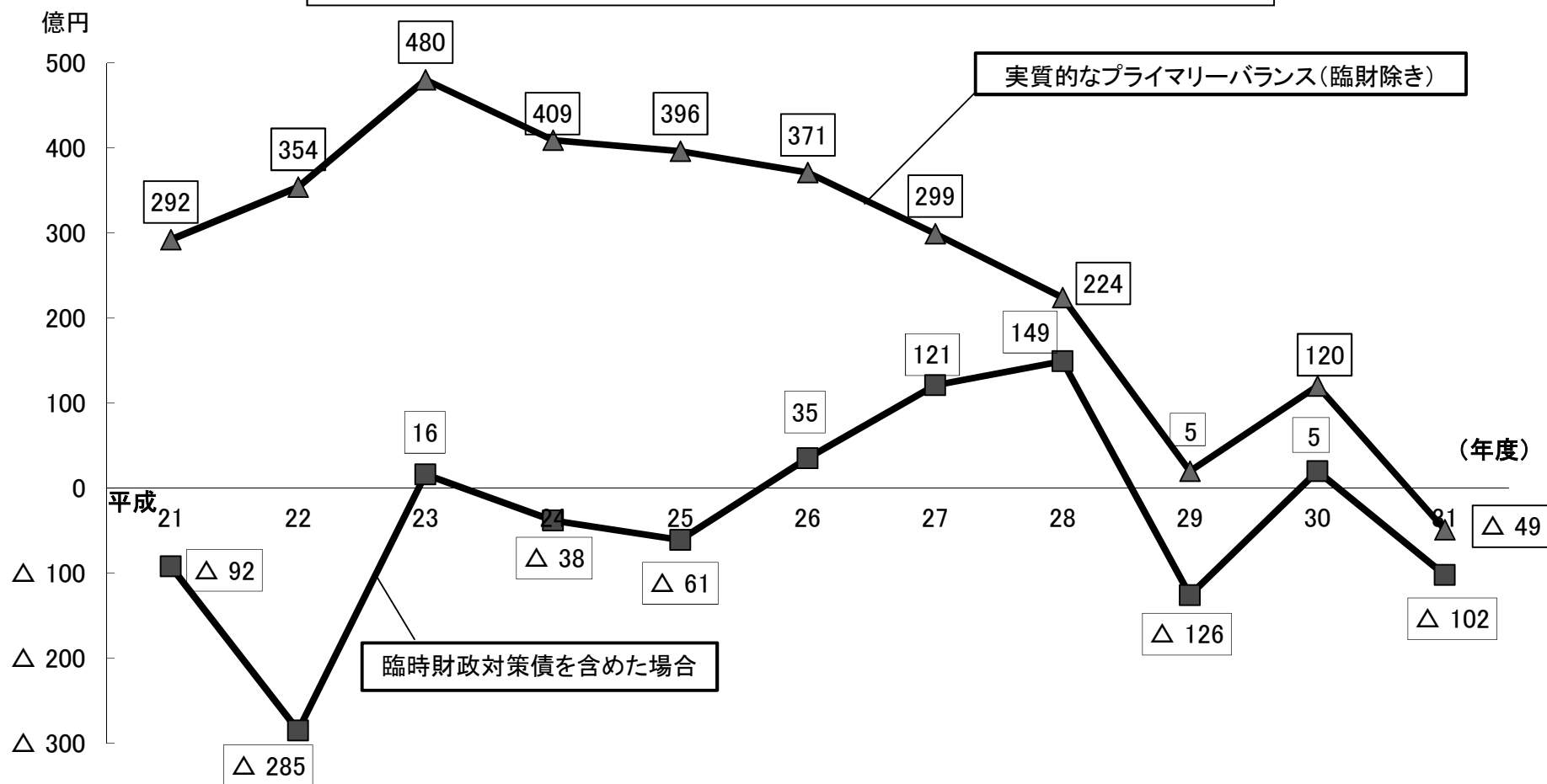


※H29年度までは決算、H30年度は2月補正後、H31年度は当初予算ベース

プライマリーバランス(当初予算)の推移

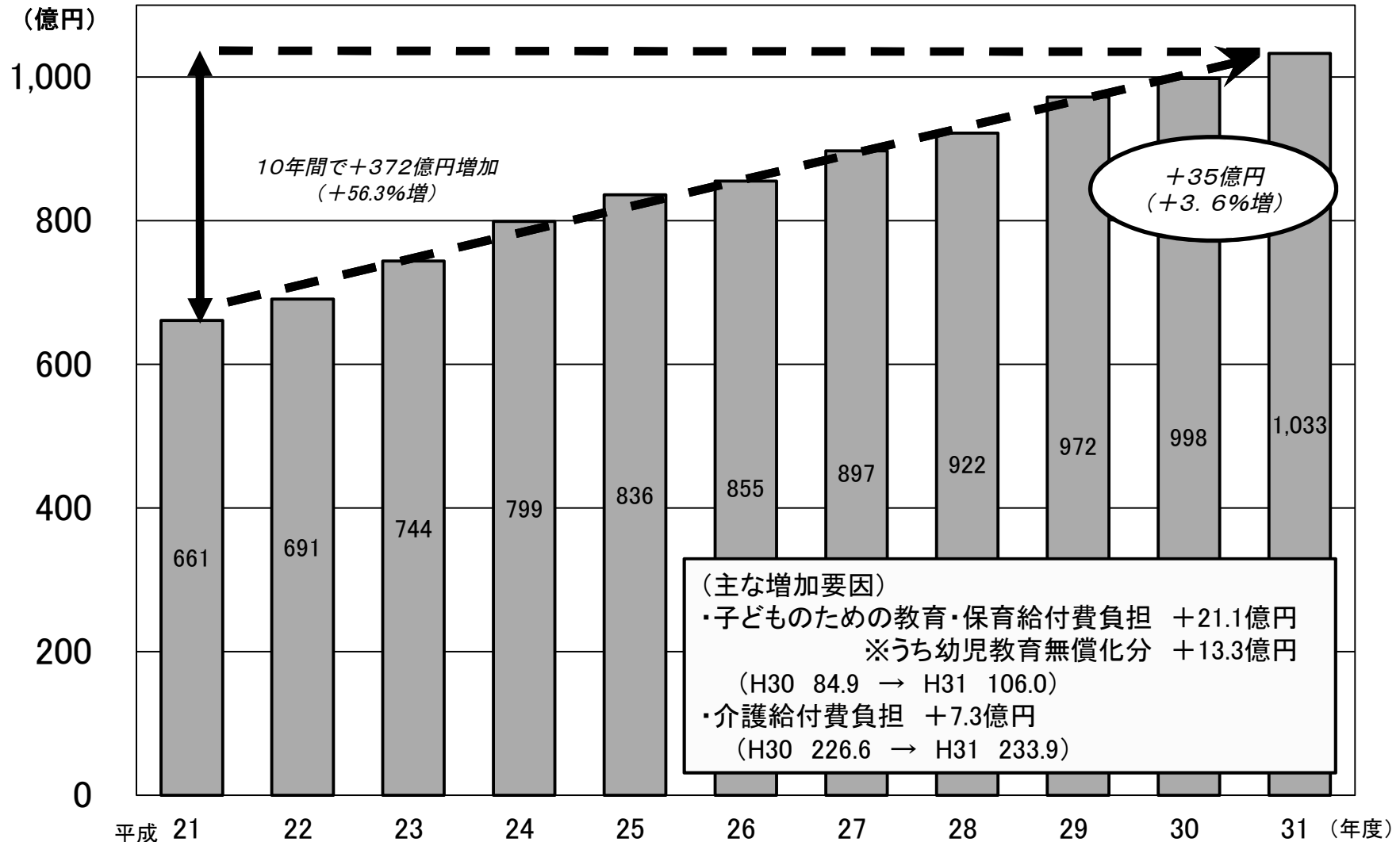
・財源的に有利な防災・減災緊急対策に係る県債の発行、公債費の減少等により、平成31年度の実質的なプライマリーバランスはマイナス。

(歳入－県債)－(歳出－公債費)



社会保障関係経費の推移

- ・少子高齢化の進展、幼児教育無償化などの影響により、社会保障関係の支出が大きく増。
- ・10年前の平成21年度と比べて、約1.6倍の高い水準。



公共事業費・投資的経費の推移

・防災・減災対策への集中的な取組(事業費346億円)や「Gメッセ群馬」の完成年度であることなどから、前年度に比べて、公共事業費で+93億円、投資的経費全体では+159億円の増。

